



G

リスクマネジメント

基本的な考え方

当社グループは、「パッケージプロバイダー」としての使命を胸に、世界でベストワンの総合包装企業集団を目指し、持続的な企業価値の向上に努めています。あわせて、生活必需品を消費者にお届けするサポーティングインダストリーとしての供給責任を果たすため、平時より各種の準備・管理を行うとともに、災害発生時の基本方針を定め、体制の整備に努めています。

リスクマネジメント体制

当社は、経営品質の向上と将来のリスクの低減あるいは回避などを目的に、代表取締役会長を委員長とするCSR委員会を設置しています。コンプライアンス、環境、災害、品質、情報などに係るリスク管理については、各担当部門およびCSR委員会の下部組織である倫理、環境、安全衛生、CS（顧客満足）、広報の5つの委員会が協力して社内規程の策定、マニュアルの作成などを行うとともに、全社状況の監視を行っています。

また、取締役会は、取組み状況について、各部門を管掌・担当する取締役および各委員会の委員長から報告を受けるとともに、必要に応じて改善策などを審議・決定しています。

自然災害対策

地震や台風といった自然災害が頻発している状況を踏まえ、災害発生時の会社の対応を示した基本方針を定めています。東日本大震災を契機に、2011年6月以降、全事業所で食料などの備蓄を実施するとともに、2012年3月には衛星携帯電話を設置しました。2012年4月からは、自動配信メールによって大規模地震発生時の従業員等の安否や被害情報を把握する体制を整えました。以来、半年ごとにテストメールを配信し、有事に備えています。

災害時の基本方針

1. 従業員およびその家族の安全確保を最優先に対応する。
2. 自社設備の被災状況の把握とその早期復旧に努め、事業継続に最大限の努力を行う。
3. 企業活動を維持・継続することにより、社会的責任（雇用・供給責任等）を果たす。

新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症拡大という戦後最大の難局下にあって、働く者の安全と健康を確保し、社会の一員として、感染症拡大防止に最大限努めています。生活必需品を消費者にお届けするサポーティングインダストリーとしての供給責任を果たすため、2020年4月に代表取締役会長のもと代表取締役社長を対策本部長とする「レンゴグループ新型コロナウイルス感染症統合対策本部」を設置しました。同本部ではグループ全体への感染予防対策などの指示・連絡、政府等関係機関から提供される情報の周知、感染予防用品の調達・配付などを行っています。



本社会議室の間仕切り

情報管理

近年、リモートワークの導入やクラウドシステムの利活用、工場でのAI・IoT化が急速に進み、取り扱うデジタルデータが急増する中、情報セキュリティの重要性が非常に高まっています。

当社グループはより一層のリスク管理の徹底と、強靱なセキュリティ体制を構築するため、セキュリティポリシーや運用体制の見直し、啓発活動を継続的に実施しています。お客様や投資家、従業員などステークホルダーの情報については重要な資産と捉え、適切に保護・管理しています。また、不審なメールへの注意喚起や対応をイントラネット上で情報提供するなど、従業員のセキュリティ意識向上のための教育も進めています。